

「気張ろう！建設業 新春の集い」を開催しました。

去る1月16日(月)佐賀市のマリトピアにおいて、社団法人佐賀県建設業協会と佐賀県建設関連団体連絡協議会の共催で「気張ろう！建設業 新春の集い」を開催しました。



当日は、県協会員・建産連団体会員と、佐賀県知事・佐賀県議会議長・佐賀県選出国會議員・各市町長・佐賀県議会議員等の来賓を併せて約300名強が参集しました。

この会は、建設業を取り巻く環境が厳しさを増す中、業界を取り巻く様々な課題の克服と、災害対応やインフラの整備・維持補修等県民の安心安全を守るという社会的役割を果たすため、関係者が一堂に会し、団結力と存在感をアピールする事を目的として行ないました。



まず、岸本会長が「昨年は、東日本大震災や和歌山県での豪雨災害、口蹄疫や鳥インフルエンザの防疫活動など、地元建設業界は各関係機関と共に最前線で活動を行なっている。今年は我々の存在意義を広く社会に発信して行きたい。」と挨拶を行ないました。

続いて来賓から挨拶を頂き、古川康佐賀県知事から「皆様には日頃から様々な形で県民の暮らしを下支えして頂いており大変感謝している。建設業は減災・防災の関連産業でもあり、“建設業”という3文字には収まりきれない多くの社会的意義のある活動をしてもらっている。」との挨拶を頂きました。



その後、石井秀夫佐賀県議会議長、今村雅弘衆議院議員から挨拶を頂戴し、秀島敏行佐賀市長の乾杯の音頭で懇談へと移りました。



後半は、皆様から持ち寄って頂いた商品を中心としたお年玉抽選会を行ない、最後に、山口淳也県協会青年部長の発声で「ガンバロー三唱」を行ない、盛会の内に閉会しました。